

令和4年度京都市立学校教員採用選考試験（動画）

「現職教員の声（高等学校）」発言概要

進行役	<p>こんにちは。</p> <p>私は京都市教育委員会教職員人事課の石橋と申します。どうぞよろしくお願ひします。今回は教員採用試験を目指す方々に向けて、現役教員の方のお声をお聞かせいただきたいと思います。では早速、「学校名」と「職名」、「お名前」をお願いします。</p>
小林	<p>はい。皆さんこんにちは。京都市立紫野高等学校教諭の小林 孝由と申します。本日はよろしくお願ひします。</p>
進行役	<p>よろしくお願ひします。では早速、質問の方に入りたいと思います。</p> <p>まず初めに、教員を志したきっかけについて、教えてください。</p>
小林	<p>はい。私は大学生のころ、京都市立高校で学生ボランティアをしていました。その時、ある高校生が私に言ってくれたことが、教員を目指すきっかけとなりました。それは、「小林先生とたくさん話すことが出来て、本当によかったです。自分自身の本当に大切にしたいことや、やりたいことがすごく明確になりました。出会えてよかったです。」そう言ってもらえた時に、あ、自分は一人の生徒の将来を決めるときに、何かの役に立てたんだ、この仕事ってすばらしいな、そういう風に思えたのが、教員を目指すきっかけです。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。続いて、京都市立高校で働く魅力について、教えてください！</p>
小林	<p>はい。京都市立高校は、各校が独自の特色を持ち、教員間の交流が非常に多いです。「どうすれば授業がうまくいくのか。」「生徒とどうすればうまく関わって部活動などが出来るのか。」「教員間同士の連携をどうすればいいのか。」そういった悩みを持った時、その先生方に話を聞くと、「あ、そういう方法があったんだ。」そのような発見が本当に多くあります。</p> <p>生徒の持つ力を最大限に引き出すには、自己研鑽が欠かすことが出来ません。同じ志を持つ多く仲間や、研鑽の場所があることは、自分にとって、本当に心強いです。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。続いての質問なんですけれども、これまでの教員生活の中で、いちばん嬉しかった出来事があれば教えてください。</p>
小林	<p>はい。「先生、合格しました！」と、泣きながら職員室に来てくれた生徒の姿が、いちばん心に残っています。その生徒は、一年生、二年生の時、授業への欠席や遅刻が目立ち、進路の希望欄にも「未定」というひと言しか書いてくれていませんでした。その生徒と何度も面談を繰り返す中で、生徒がポツリと自分の夢を語ってくれました。それは「教師になりたいんです。」</p>

	<p>ということでした。それを聞いた時、私は「すごくいい夢じゃないか、一緒に頑張ろう、一緒に目指そう。」という風に伝えたのを覚えています。その時、生徒が非常にいい笑顔をしてくれました。その時から生徒が、一生懸命、勉強に努力を重ねるようになってくれました。生徒自身が自分の夢を見つけ、未来を切り開いていく、それを一番近くで見れたこと、それが私の喜びです。</p>
進行役	<p>続いての質問なんですけれども、「毎日の教育活動の中で、小林先生がいつも心掛けていること」があれば教えてください。</p>
小林	<p>はい。生徒の持つ力を最大限引き出すには、どうすればいいのか、その問いを常に自分の心に向けています。生徒の置かれている状況を正確に把握すること、生徒のやる気を導き出すために、どのような問いがいちばん効果的なのか。そういったことを、常に考えるようにしています。そのために、自分に足りない部分を明確にし、他の先生方と交流をしたり、研修会や研究会に参加することで、自分の不足している部分を補うようにしています。</p>
進行役	<p>では最後に、「京都市の教員を目指す方々に一言」をお願いします。</p>
小林	<p>はい。生徒たちは、教員が思いを持って接すれば、必ず答えてくれます。生徒たちの屈託のない笑顔と、真剣な眼差しは、私たち教員にとって多くの学ぶきっかけとなります。</p> <p>京都市立学校は、生徒も教員も共に学び育つ場所です。一人一人の子どもを徹底的に大切にするという思いを皆さんと共有し、子ども達の素晴らしい笑顔と一緒に作っていきましょう。</p>